

たしせつな<sup>木</sup>の友だち

作・絵 川上ふたは





さい す  
エリカとルナは14才、エクアドルに住んでいる。  
ひみつ か もの まち い  
これから秘密の買い物のために街に行くところだった。  
み  
「ねえ、エリカ、このあいだのニュース見た?  
こうそくどうろ い  
ナマケモノが高速道路にいたんだって!」とルナが言った  
き  
「エー??ほんと?なんでだろう」エリカは聞いた。



○#☆x!!!  
ちよ,ちよ,ちよ,  
ちよ,ち



「なに? #☆x○#☆x、ちよっ、ちよっ、チヨット!!!!」  
あし なに つ  
エ、エ、エリカの脚に... 何かくっ付いている!  
とつぜんいき と  
ルナが突然息を止めた  
なに だい  
「ギャ————!!! 何これ!!??」エリカは、大パニック  
たす  
「だれか助けて~~~~!!!!」  
みみ  
「さげばないでよ——!!! 耳がいたい——!!!!」  
なに い き  
「??なに?? 何て言った??!!!」エリカは聞いた。  
なに い はんぶん  
「あたし何も言ってないよ!!! と、ルナも半分パニックだ。  
はな  
「ぼくが話したんたよー」なんと、ナマケモノがしゃべっていた。  
し  
「ギャ————ギャ————、死んじゃう~~~」



「お家に帰りたいんだよー」ナマケモノが泣き始めた。

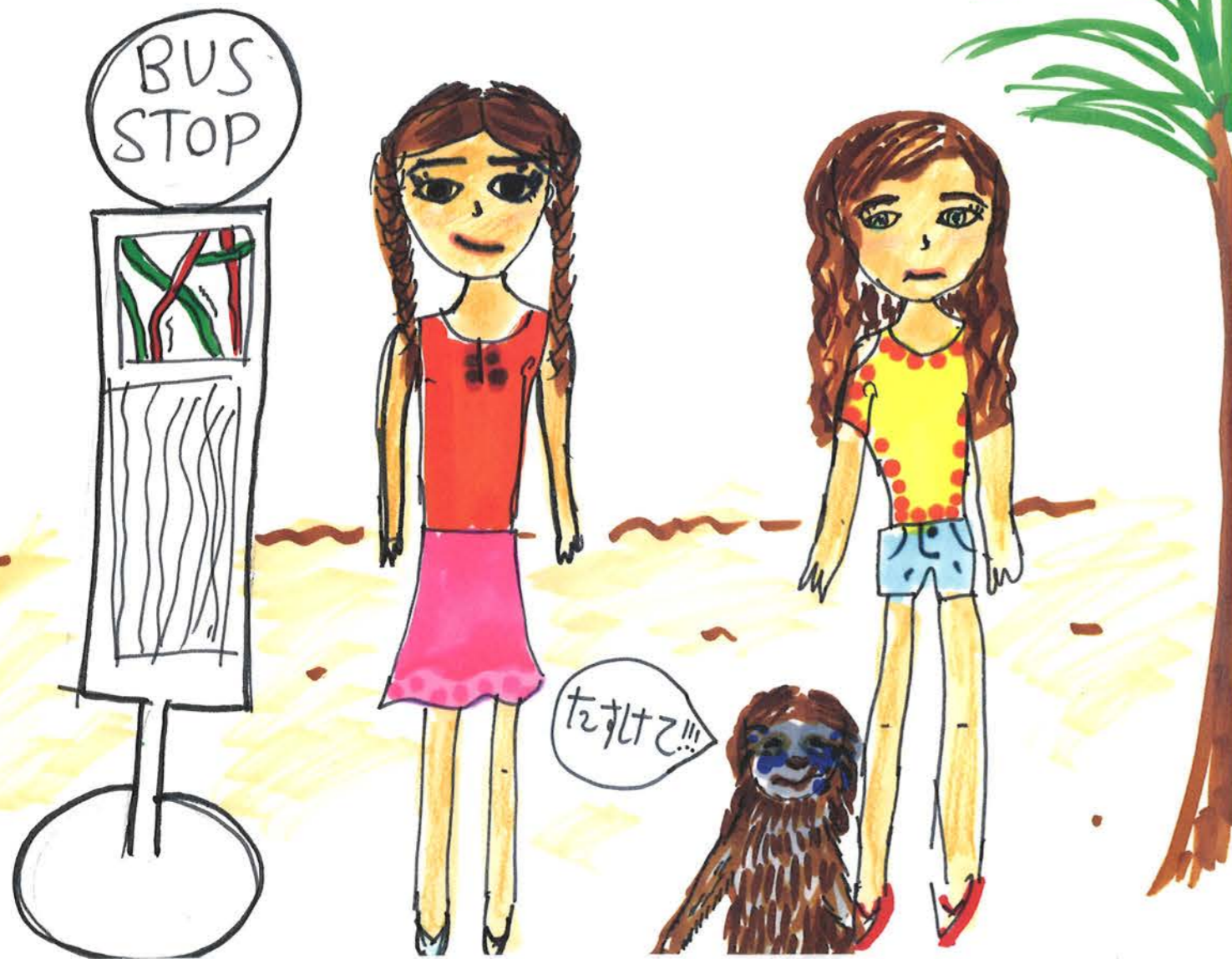
「ママとパパのところにいきたいよー、お願いぼくのこと助けてよ！！」

ナマケモノは、ぎゅっとしがみついた。

「どうしよう。。。ママにも相談できないし今日はママの誕生日。

ルナに付き合ってもらって、ママに内緒でプレゼントを買いに行くところだった。

「そうなんだ、かわいそうにどうやったら助けられるかな？」エリカは考えた。



「あ、そういえば、ニュースで動物保護施設があるって言ってた。

そこに行けばもしかして助けてもらえるかも。」と、ルナが思い出したように言った。

「そこ、遠いのかな？」

「ここからバス行けると思うよ」ふたりでうなずいた。



「ぼく..ママとパパとはなれちゃったの。

大きな男の人がたくさん来て、電動ノコギリで全部木を切ったんだ。

ぼくの友達の家も切ったんだよ」ナマケモノは、バスのなかで悲しそうに言った。

「大丈夫だよ、今から家がなくなった動物を助けてくれる所に行くの」

本当はエリカもルナもたどりつけるか心配だった



やっとレスキューセンターに着いた。

「ここか、、、」ルナが周りを見ながら言った。

たくさんの種類の動物がいて、二人は驚いた。

「こんにちは、動物レスキューセンターへようこそ」

ボランティアの優しい女の人が迎えてくれた。



「私たち道を歩いてたら、このナマケモノが足にくっついてきたんです。お家がなくなって、お母さんとはぐれたらしいんです」

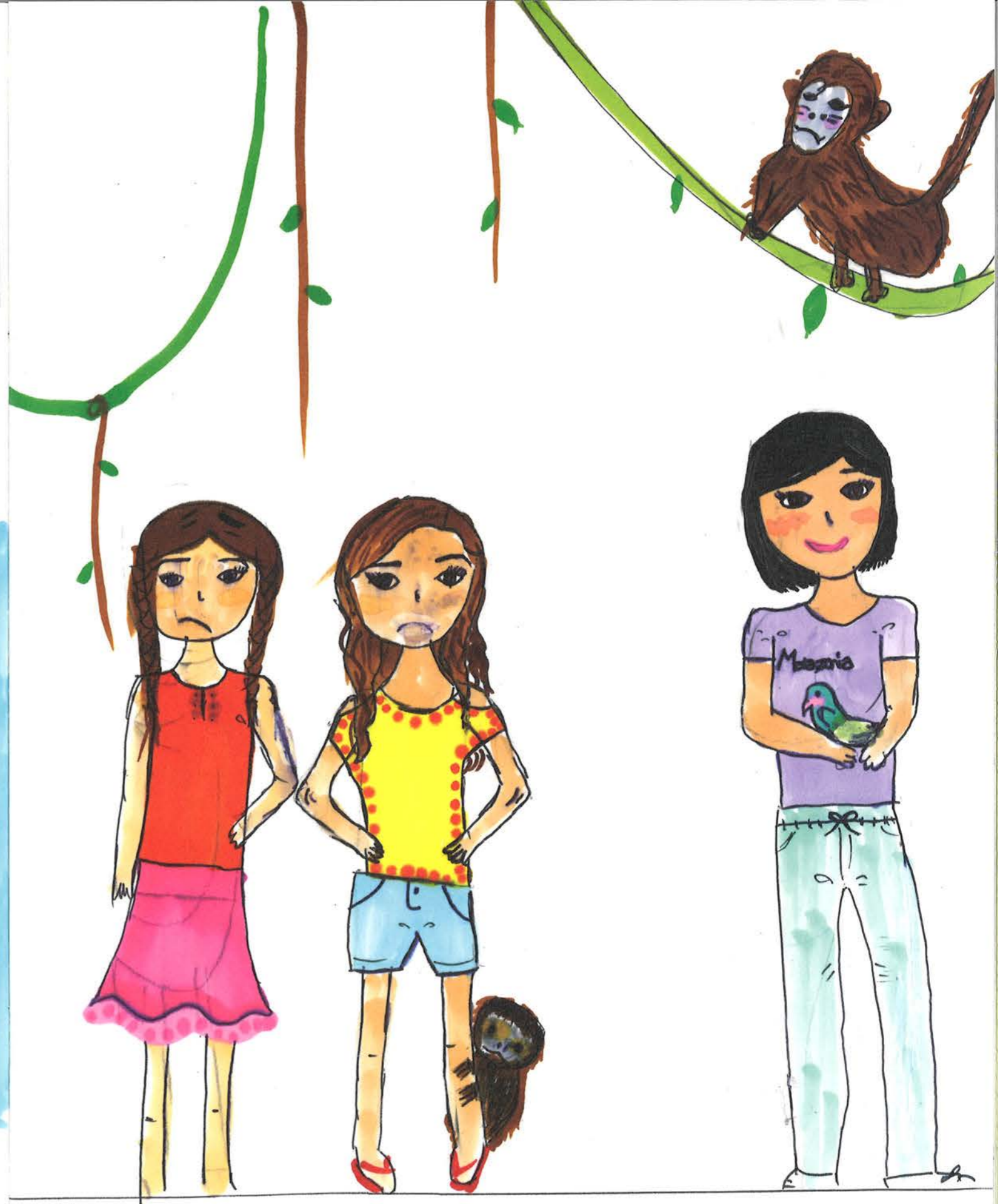
「ここにいる動物の多くは木が切られてるせいで、住む家がなくなっちゃったのよ」

「なんで、みんな木を切ったのかな？」エリカが聞きました。

「人は、毎日木をたくさん使ってるの。例えば、住んでる家、机とか、えんぴつは全部木で作られてるのよ」

「えー、じゃあ皆んな木を使うのをやめたらいいんだ」ルナが怒って言った。

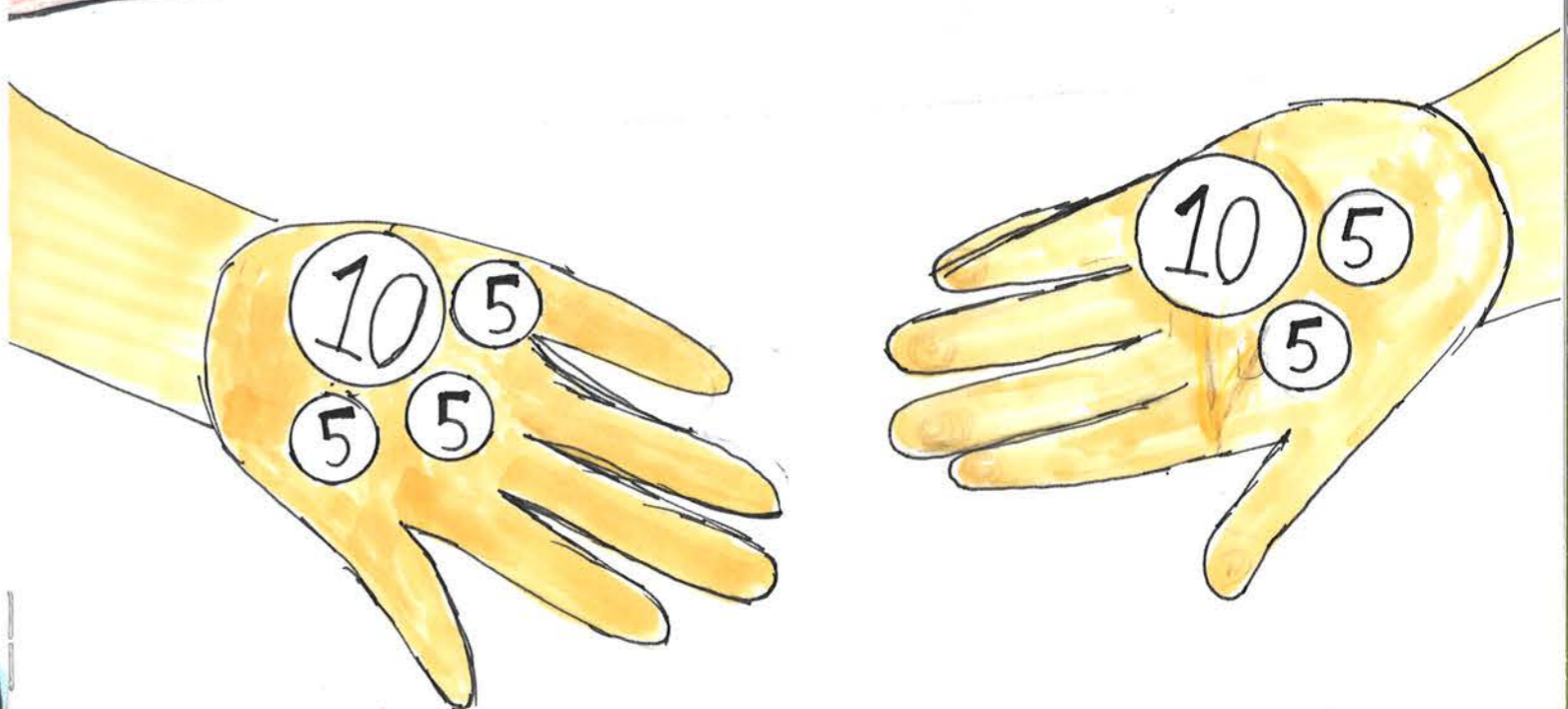
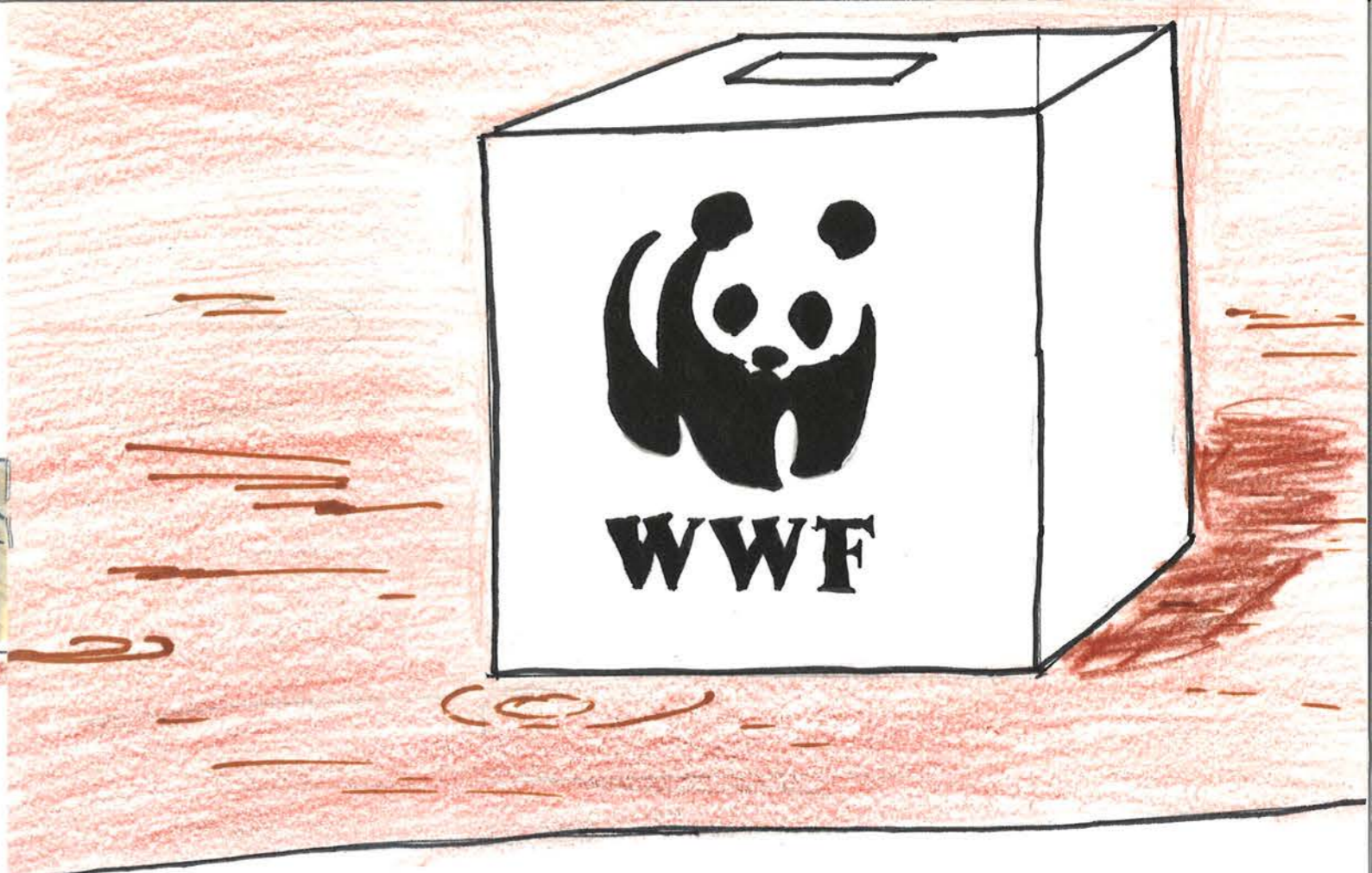
「でも、それは、しょうがないの。みんなもう使っている木のものは、かえられないけど、これから気をつけていくしかないの。紙や、ティッシュを無駄にしないとか、わりばしをもらわないで、じぶんのはしを使ったほうがいいの。」







もり  
「森がなくなっていることで、<sup>どうぶつ</sup> たくさんの動物が地球からいなくなっているの。  
あなたたちでもできることがたくさんあるのよ。  
WWFでは動物を守る活動<sup>まも</sup> しているから、本やウェブサイト<sup>よ</sup> を読んでできようみを  
もってほしい。それから、友達や家族と応援<sup>ともだち かぞく おうえん</sup> して欲しい」



「そろそろ、<sup>かえ</sup> 帰ろっか」エリカは言った。  
出口<sup>でぐち</sup> に歩いて行ったら、WWFの募金箱<sup>ぼきんばこ</sup> が見つけた。  
ポケット<sup>て</sup> に手を入れたら少しお金<sup>すこ かね</sup> が入っていた  
「少し<sup>すこ</sup> だけど、役立つ<sup>やくた</sup> くれるといいね」と、そのお金<sup>かね</sup> を入れた





「ちょっと待って」ボランティアの人が走ってきた。

「このカード良かったら使って！これはFSCのマークがついていたカードなの。FSCマークは森を壊さないように切られた木から作られた物についているのよ。ノートや色えんぴつを買うときにこういう物を選んでね。」と教えてくれた。



ナマケモノが急にエリカから離れた

「ママ！」お母さんを見つけ、走って行った。

「心配してたのよ、大丈夫？」ゆっくりナマケモノにとっては早く駆け寄った。

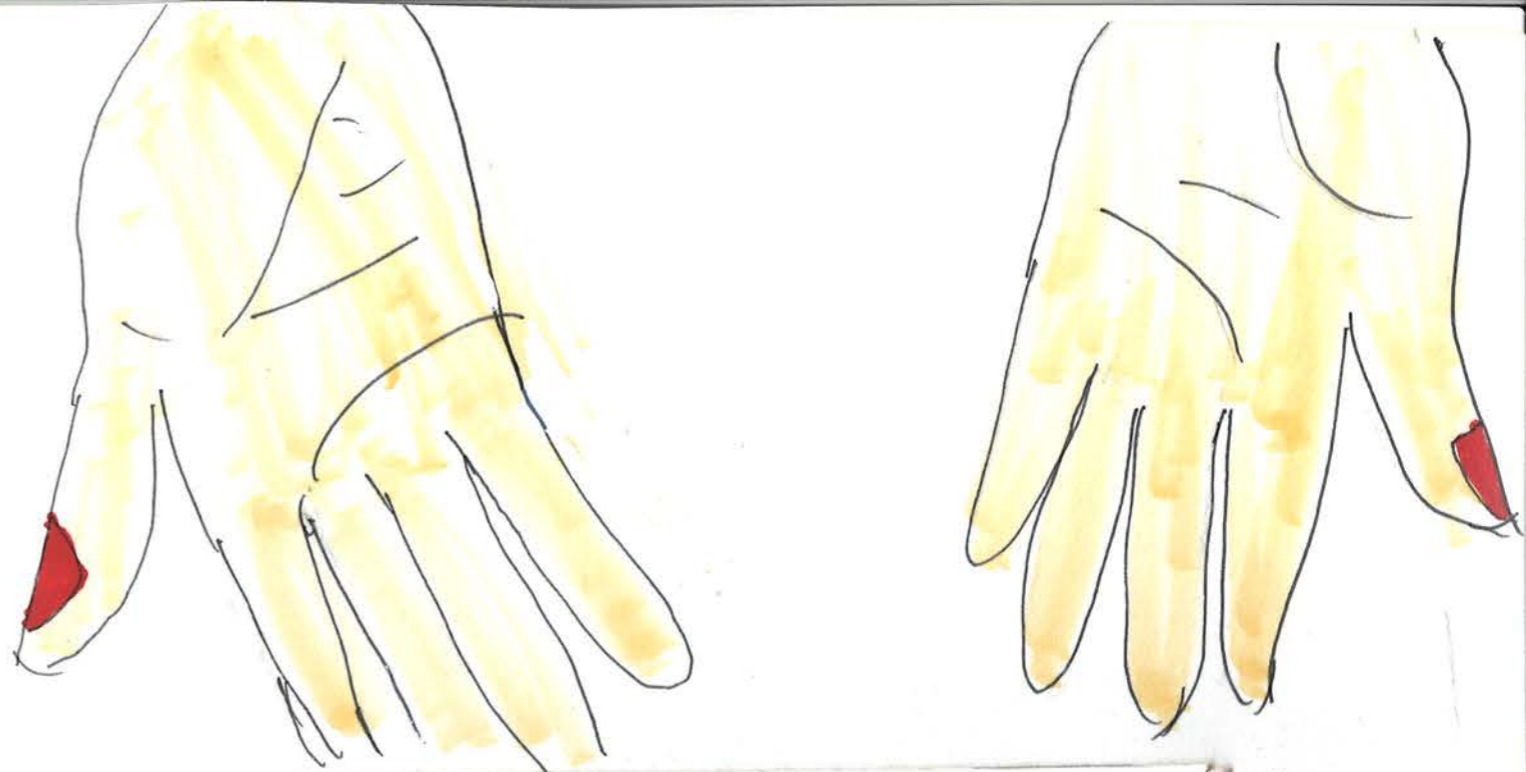
「新しい友達が助けてくれたの。」

「パパは？」

「私もずっとパパを探してるの」

「じゃあ、パパをここで待とう。パパもきっと大丈夫だと思う」





おかあさんへ



おたんじょうびおめでとう!  
 今日は、たいいよ森のともだち  
 ができました。  
 今日ほんとは、プレゼントがいた  
 かったけど「おかねせんぷ」つかっちゃ  
 ったの。  
 でも今日森と動物をたいせつに  
 まもるほうほうみつけたよ。  
 大すぎだよお母さん。

エリカより

「今日はすごい日だったね」帰りながら、ルナが言った。  
 「私たちも少しだけど、できることして行きたいね。今日は付き合ってく  
 れてありがとう」エリカがハグした。  
 「プレゼント買うお金なくなっちゃったね。でもカードもらえたから、  
 これバースデーカードにする。」

二人はバイバイと言ってわかれた。



## 最後まで読んでくれてありがとう！



この絵本は、2016年に行った「WWFジャパン森林絵本コンテスト」で、優秀作に選ばれた作品を本にしたものです。

いま、豊かな森が減り、野生の生きものたちの数も少なくなっています。世界の環境を守る「WWFジャパン」では、森にすむ生きものたちに、いまどんな問題が起きていて、どうすれば良いのかを学んだ小学生の皆さんから「絵本」を募集しました。小学生の皆さんが、授業で、森や自然、野生動物について学んだことや気づいたことを「絵本」にして家族やお友達に知らせようと、一生けんめい工夫して物語を作ってくれたのです。

みなさんは、この絵本を読んでどう思いましたか？ 感想を、ぜひ家族や周りのお友達と話し合ってみてください。森や、そこにすむ生きものを守りながら暮らすにはどうすれば良いか考える人がたくさん増えることが、森や動物を守ることにつながるからです。

## 私たちにできることのヒント「FSC®」マーク

私たちが使う紙は、森の木から作られています。むやみに木を切ってしまうと、動物たちのすむ場所もなくなってしまうかもしれません。「FSC®」は、森の生きものや、周りに暮らしたり働いている人のことを考えて、きちんと管理された森や、そこから生まれた紙につけられるマークです。動物たちの暮らしにできるだけ負担をかけないように森を使うようにしているので、FSCマークがついたノートなどを使うことは「森を守りながら使う」ことにつながります。ぜひ、このマークを覚えてください。



責任ある森林管理のマーク

## WWFって？

WWFは、100カ国以上で活動している地球環境保全団体です。1961年にスイスで設立されました。地球上の生物多様性の保全と、人の暮らしが自然環境や野生生物に与えている負荷の軽減を柱として活動しています。

現在、特に力を注いでいるのは、森や海などの生態系を保全すること、木材や魚介類など、自然資源の利用を持続可能なものにする、地球温暖化を防ぐこと。WWFのサポーターになることは、今すぐ、誰もが始められる環境保全です。人と自然が調和して生きられる未来を築くために、ぜひあなたの力を貸してください。



## WWF ジャパン (世界自然保護基金ジャパン)

<http://www.wwf.or.jp>

東京都港区芝 3-1-14-6F

TEL: 03-3769-1241 (平日 10:00 ~ 17:00) Email: [hello@wwf.or.jp](mailto:hello@wwf.or.jp)

## 「WWF ジャパン森林絵本コンテスト」2016 実施概要

参加校 (ABC 順)

British School In Tokyo

Makuhari International School

New International School

Nishimachi International School

Tokyo International School

主催 WWFジャパン

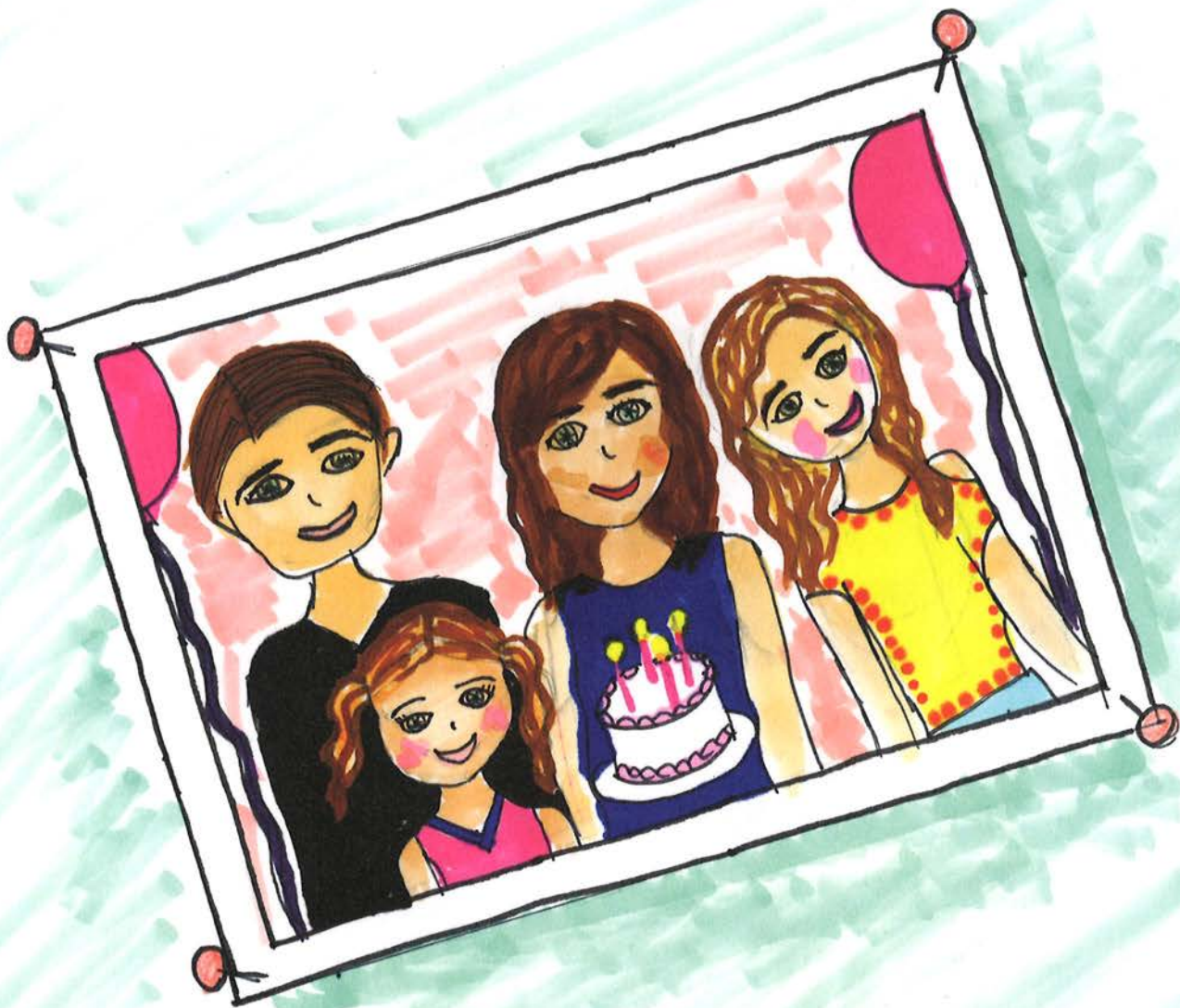
協賛 王子ホールディングス株式会社

監修 堀井清毅 教諭

(Nishimachi International School)







「WWFジャパン森林絵本コンテスト2016」受賞作品

この絵本は、王子ホールディングス株式会社のご支援により制作されました。

用紙提供：王子エフテックス株式会社

用紙名：OKミューズガリバークロスハイホワイト 157 g/m<sup>2</sup>

印刷協力：文化堂印刷株式会社